

記載例

※記載例によらず記載内容を指導する場合があります。

様式第四

土石の堆積に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 第 12 条第 1 項 { 第 30 条第 1 項 } の規定により、許可を申請します。 ●年●月●日 栃木県知事 様 申請者 氏名 (株) ●●●●● (申請者＝工事主) 代表取締役 ●●●●●		※手数料欄 栃木県収入証紙※ を貼付。 電子納付による場合は、申込内容照会画面の写しを添付 ※印紙ではないため注意
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	住所：●●県●●市●●町●●番地⇒主たる事務所の所在地 氏名：(株) ●●●●● 代表取締役 ●●● (代表取締役住所：●●県●●市●●町●●番地) ⇒代表取締役のみ記載	
2 設計者住所氏名	住所：●●県●●市●●町●●番地 氏名：(株) ●●●●● ●●●●●	
3 工事施行者住所氏名	住所：●●県●●市●●町●●番地⇒主たる事務所の所在地 氏名：(株) ●●●●● 代表取締役 ●●●	
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	栃木県●●市●●町●●番 (緯度：●度●分●.●秒、経度：●度●分●.●秒) ⇒小数点以下第一位まで記入	
5 土地の面積	●●平方メートル ⇒土地の求積図と整合	
6 工事の目的	ストックヤード 等	
7 工事の概要	イ 土石の堆積の最大堆積高さ	●●メートル
	ロ 土石の堆積を行う土地の面積	●●平方メートル
	ハ 土石の堆積の最大堆積土量	●●立方メートル
	ニ 土石の堆積を行う土地の最大勾配	●分の● ⇒十分の一を超える場合は次項に堆積した土石の崩壊を防止するための措置を記載
	ホ 勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置	構台設置 等 ⇒土地の最大勾配が十分の一を超える場合
	ヘ 土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置	●●
ト 空地の設置	番号	空地の幅

記載例

※記載例によらず記載内容を指導する場合があります。

チ リ ヌ ル ヲ ワ カ	①	●●メートル	
	②	●●メートル	
	③	⇒記載しきれない場合は別紙も可	
	雨水その他の地表水を有効に排除する措置	土石の周囲に側溝設置 等	
	堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	鋼矢板設置 等 ⇒空地を設けない場合等は鋼矢板等の設置が必要	
	工事中の危害防止のための措置	立入り防止のための柵設置 等	
	その他の措置	軟弱地盤対策 等	⇒空欄になる箇所は「該当なし」と記載
	工事着手予定年月日	●年●月●日 ⇒「許可日、許可日の翌日」等の記載でも可	
工事完了予定年月日	●年●月●日 ⇒最大5年間		
工程の概要	工程表のとおり（年間の搬出量及び搬入量）		
8 その他必要な事項	関係法令等協議先一覧のとおり ⇒書類で提出 ※関係法令一覧は県から送付します。		
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日			年 月 日
第 号			第 号
係員氏名			係員氏名
〔注意〕 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 5 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 6 7 欄は、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。 7 8 欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。			